



平成23年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 比較.com株式会社
コード番号 2477 URL <http://www.hikaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 哲男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 峰崎 揚右

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5447-6690

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年6月期第1四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第1四半期	263	15.4	62	137.2	62	127.7	24	18.2
22年6月期第1四半期	228	51.7	26		27		20	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第1四半期	766.28	766.14
22年6月期第1四半期	648.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第1四半期	1,908	1,737	90.8	53,537.81
22年6月期	1,942	1,712	88.0	52,771.53

(参考) 自己資本 23年6月期第1四半期 1,733百万円 22年6月期 1,708百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期		0.00		0.00	0.00
23年6月期					
23年6月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	547	17.2	87	21.3	87	18.5	36	7.4	1,112.60
通期	1,144	13.2	170	21.8	170	22.1	66	26.9	2,060.21

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P.2「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 社 (社名)、除外 社 (社名)
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期1Q 32,382株 22年6月期 32,382株
期末自己株式数 23年6月期1Q 株 22年6月期 株
期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期1Q 32,382株 22年6月期1Q 32,382株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算報告書のレビュー手続きを実施しています。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確かな要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコポイントやエコカー減税及び補助金などの優遇措置や猛暑による特需の寄与もあり、一部に回復の兆しが見られているものの、円高・デフレの進行、株式相場の低迷など、依然として先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような状況ではありますが、インターネット市場は拡大を続けており、平成21年12月末において、インターネット利用者数は前年比317万人増の9,408万人に達しております。さらにインターネットの利用にパソコン及びモバイル端末を併用する人が前年比296万人増の6,492万人、ゲーム機やテレビ等からのインターネット利用者は前年比172万人増の739万人となり、インターネット利用環境の多様化も進んでおります。また、ブロードバンド回線を利用している世帯の割合は前年比3.4ポイント増の76.8%となり、利用環境の整備が進んでおります。

(総務省調べ)

このような環境の中、当社グループにおきましては、総合比較サイト『比較.com』にて銀行比較サービス及び住宅ローン比較サービスの二つの新サービスをリリースし、金融関連サービスの拡充を行いました。また、ショッピング比較サービスにおいては前連結会計年度に引き続きサービスの再構築を進めており、商品カテゴリや取扱商品数が大幅に増加いたしました。機能の面におきましては、平成22年8月に商品レビュー機能をリリースし、商品の基本情報に加えて、実際に使用したユーザーの感想を参考に商品を比較できるようになりました。

アプリケーションサービス事業におきましては、新商品であるASP型の予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』のプロモーションやキャンペーンを積極的に行いました。また、宿泊予約サイト及び自社ホームページ用宿泊予約システムへの対応も継続的に進めました。主力商品であるインストール型の予約サイトコントローラ『手間いらず!』につきましても、ポイント制の予約サイトや地域に特化した予約サイトなど特色のある予約サイトと連携を開始し、更なる利便性の向上をはかりました。

オンライントラベル事業におきましては、連結子会社の予約.com株式会社が運営する旅行予約サイト『予約.com』にて引き続き国内宿泊予約サービスの機能改善やデータベース拡充などの仕組みづくりに注力いたしました。また、同社が運営する国内宿泊予約サイト『マル得ホテル予約』におきましては、キャンペーン情報や、当日予約が可能なホテルなど、ユーザーニーズに応じた内容のメールマガジンを積極的に配信することで、集客力向上につながりました。

その他事業におきましては、連結子会社の株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーが、新商品の開発を進めると同時に、既存商品の販路拡大に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は263,523千円(前年同期比15.4%増)、営業利益は62,049千円(前年同期比137.2%増)、経常利益は62,664千円(前年同期比127.7%増)、四半期純利益は24,813千円(前年同期比18.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

インターネット広告事業

インターネット広告事業におきましては、当社運営の総合比較サイト『比較.com』にてページビュー数及びユニークユーザー数が順調に伸び、収益の増加に貢献いたしました。

この結果、インターネット広告事業の売上高は157,737千円(前年同期比33.2%増)となりました。

アプリケーションサービス事業

アプリケーションサービス事業におきましては、導入施設数は増加したものの、低価格の新型予約サイトコントローラ『手間いらず.NET』を利用する施設の割合が増加し、売上高はほぼ横ばいの推移となりました。

この結果、アプリケーションサービス事業の売上高は88,720千円(前年同期比2.2%減)となりました。

オンライントラベル事業

オンライントラベル事業におきましては、連結子会社の予約.com株式会社が運営する旅行予約サイト『予約.com』にて、海外航空券の9,800円シリーズをはじめとする企画商品の人気定着したことで、リピーターが増加し、利用者数が前年同期比23.9%増となりました。しかしながら、景気の悪化に伴う旅行需要の減少により、平均旅行日数や予約単価が伸びず、低調に推移いたしました。

この結果、オンライントラベル事業の売上高は15,381千円(前年同期比14.5%減)となりました。

その他事業

その他事業におきましては、連結子会社の株式会社ヒメナ・アンド・カンパニーが引き続き既存商品である遺伝子検査キットの販路拡大に向けた営業活動を行いました。

この結果、その他事業の売上高は1,683千円（前年同期比27.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は1,908,945千円となり、前連結会計年度末に比べ33,102千円減少いたしました。主な要因は、のれん14,635千円の減少であります。

当第1四半期末の負債は171,622千円となり、前連結会計年度末に比べ57,632千円減少いたしました。主な要因は、預り金14,811千円の減少、及び、未払法人税等43,071千円の減少であります。

当第1四半期末の純資産は1,737,323千円となり、前連結会計年度末と比べ24,530千円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の発生によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成22年8月13日付の決算短信において発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は200千円、税金等調整前四半期純利益は3,400千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始により、投資その他の資産の「その他（敷金）」が3,400千円減少しております。

表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,399,516	1,404,659
売掛金	129,420	134,765
繰延税金資産	3,892	6,538
その他	28,567	25,707
貸倒引当金	5,870	6,075
流動資産合計	1,555,527	1,565,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,167	2,167
減価償却累計額	2,167	2,167
建物及び構築物(純額)	-	-
その他	6,013	6,013
減価償却累計額	6,013	6,013
その他(純額)	-	-
有形固定資産合計	-	-
無形固定資産		
のれん	300,856	315,491
その他	2,781	2,856
無形固定資産合計	303,637	318,347
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,949	2,625
その他	51,703	59,537
貸倒引当金	3,871	4,058
投資その他の資産合計	49,781	58,105
固定資産合計	353,418	376,452
資産合計	1,908,945	1,942,047
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,418	4,317
未払法人税等	32,693	75,764
その他	131,510	149,172
流動負債合計	171,622	229,254
負債合計	171,622	229,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,262	709,262
資本剰余金	1,000,262	1,000,262
利益剰余金	24,136	677
株主資本合計	1,733,661	1,708,847
新株予約権	3,662	3,945
純資産合計	1,737,323	1,712,793
負債純資産合計	1,908,945	1,942,047

(2) 四半期連結損益計算書
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 7 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 7 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)
売上高	228,445	263,523
売上原価	24,992	19,443
売上総利益	203,452	244,079
販売費及び一般管理費	177,372	182,030
営業利益	26,079	62,049
営業外収益		
受取利息	347	192
為替差益	671	127
その他	427	295
営業外収益合計	1,446	614
経常利益	27,526	62,664
特別利益		
新株予約権戻入益	1,695	326
特別利益合計	1,695	326
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3,200
特別損失合計	-	3,200
税金等調整前四半期純利益	29,222	59,790
法人税、住民税及び事業税	271	31,654
法人税等調整額	7,960	3,322
法人税等合計	8,231	34,976
少数株主損益調整前四半期純利益	-	24,813
四半期純利益	20,990	24,813

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	29,222	59,790
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	3,200
のれん償却額	13,979	14,635
貸倒引当金の増減額(は減少)	718	392
受取利息及び受取配当金	347	192
売上債権の増減額(は増加)	20,579	6,054
仕入債務の増減額(は減少)	5,846	3,101
預り金の増減額(は減少)	5,767	14,811
その他	9,397	9,667
小計	13,672	61,718
利息及び配当金の受取額	336	235
法人税等の支払額	960	71,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,047	9,389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金及び保証金の回収による収入	-	4,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	4,246
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	13,047	5,143
現金及び現金同等物の期首残高	1,150,253	1,394,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,163,301	1,389,516

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	インターネット 広告事業 (千円)	アプリケーション サービス事業 (千円)	オンライン トラベル事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	118,417	90,707	17,999	1,320	228,445	-	228,445
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	118,417	90,707	17,999	1,320	228,445	-	228,445
営業利益又は 営業損失()	22,619	35,823	13,797	630	44,015	17,936	26,079

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

- (1) インターネット広告事業 当社運営の広告媒体(総合比較サイト『比較.com』等)
(2) アプリケーションサービス事業 『手間いらず!』、『手間なし』及び『ネクストCMS』
(3) オンライントラベル事業 旅行予約サイト『予約.com』及び『マル得ホテル予約』
(4) その他事業 遺伝子検査キット『ヒメナの遺伝子ダイエット』及び『A B O式血液型遺伝子検査キット』

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しています。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「インターネット広告事業」、「アプリケーションサービス事業」、「オンライントラベル事業」及び「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。

「インターネット広告事業」は、総合比較サイト『比較.com』を中心とした広告媒体の運営を行っております。「アプリケーションサービス事業」は、主にホテルや旅館等の宿泊施設に対して、宿泊予約サイトコントローラを中心としたアプリケーションの提供を行っております。「オンライントラベル事業」は、海外ダイナミックパッケージ、海外航空券、海外ホテル、国内宿泊施設のオンライン販売を展開し、旅行商品のリアルタイム空席・空室照会、即時予約、即時決済のワンストップサービスを提供しております。「その他事業」は、遺伝子検査キットのオンライン販売等を展開し、遺伝子情報に基づいた各種情報の提供サービスを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)

(単位:千円)

	インターネット 広告事業	アプリケーション サービス事業	オンライン トラベル事業	その他事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	157,737	88,720	15,381	1,683	263,523	-	263,523
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	157,737	88,720	15,381	1,683	263,523	-	263,523
セグメント利益 又は損失()	46,371	37,503	1,369	540	83,045	20,995	62,049

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額 20,995千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。